

講演テーマ 一覧

皮膚疾患は、膨大な臨床経験を基に概ね 500 枚以上のスライドを供覧いたします。

テーマ	アトピー性皮膚炎
コメント	皮膚科専門医・アレルギー専門医の診療を受けていても、重症化していく気の毒な患者さんが本当に多いです。当科受診後に軽快していく患者さんがほとんどです。「なぜ専門医の診療で改善しないのか?」「なぜ当科では良くなるのか?」その理由をお話します。
テーマ	湿疹および皮膚炎
コメント	一般的な皮膚疾患ですが、その種類も多岐に渡り、専門医の診療を受けていても改善しない患者さんが多い分野です。適切な治療法につきお話します。
テーマ	皮膚真菌症・爪疾患
コメント	カビ・水虫と安易に考えている方が多いですが、その診断・治療の難しさや病型の多彩さはあまり知られておりませんので、解説いたします。また、爪疾患は専門医に通院していても治らないケースが多く、治療の工夫についてお話します。
テーマ	細菌性皮膚疾患・皮膚結核および皮膚非結核性抗酸菌症
コメント	丹毒、蜂窩織炎、壊死性筋膜炎などの細菌感染の診断・治療は日常診療で大切です。少し難しい皮膚結核・皮膚非結核性抗酸菌症についても解説します。
テーマ	疥癬・マダニ刺咬症・シラミ症・ニキビダニ
コメント	特に疥癬とニキビダニは、皮膚科専門医でも誤診してしまうことが多いので、その診断のコツをお話します。
テーマ	ウイルス性皮膚疾患
コメント	単純ヘルペス、帯状疱疹、水痘、EB ウイルス、麻疹など。特に、帯状疱疹の診断の難しい症例、注意点についてもお話します。
テーマ	小児の皮膚疾患
コメント	小児領域の皮膚疾患全般について解説します。
テーマ	老人の皮膚疾患
コメント	老人の皮膚疾患全般について解説します。
テーマ	内臓病変を伴う皮膚疾患
コメント	内臓癌、紫斑病、ベーチェット病、アミロイドーシス、膠原病など内臓病変を伴う皮膚疾患について解説します。
テーマ	中毒疹・薬疹・点滴薬剤の血管外漏出
コメント	中毒疹や薬疹の多彩な病型とその検査・治療について、点滴薬剤が血管外に漏出した場合の注意点・対処法についてお話します。

テーマ	脱毛症
コメント	多発型、全頭部型、汎発型などの重症例についてお話しします。
テーマ	自己免疫性皮膚疾患
コメント	天疱瘡、類天疱瘡、表皮水疱症、膠原病などについてお話しします。
テーマ	熱傷・レーザー・ピーリング
コメント	熱傷の重症度の見分け方やその対処法、良性腫瘍や色素斑に対するレーザー治療、重症にきびに対するピーリングについてお話しします。
テーマ	皮膚良性腫瘍
コメント	良性腫瘍の診断と治療法(手術・皮弁術・レーザー)についてお話しします。
テーマ	皮膚悪性腫瘍
コメント	悪性腫瘍の診断と治療法(手術・皮弁術・植皮術)についてお話しします。
テーマ	皮膚外科手術
コメント	小児から老人にいたるまで多彩な皮膚外科手術についてお話しします。
テーマ	尋常性乾癬・膿疱性乾癬・類乾癬
コメント	典型的な病態を示す症例ばかりではなく、誤って乾癬・類乾癬以外の診断で治療されているケースがみられます。その診断のコツをお話しします。もちろん、種々の治療法についてもお話しします。
テーマ	皮膚悪性リンパ腫
コメント	皮膚T細胞性リンパ腫、成人T細胞性リンパ腫は、専門医でも診断できていないケースが多くみられますので、診断のコツについてお話しします。
テーマ	尋常性白斑
コメント	尋常性白斑は「一生治らない」とサジを投げられているケースがみられます。治療法についてお話しします。
テーマ	外用療法の極意
コメント	新生児から老人まで様々な皮膚疾患があり、同じ外用剤を使用しても、その外用法により経過に驚くほど違いが生じます。そのコツをお話しします。

テーマ	皮膚病理
コメント	皮膚病理は難しいですが、臨床所見と病理所見とを合わせることで正しい病態把握や治療法の選択が可能となります。つまり、臨床力に直結する非常に大切な分野です。自分の手で皮膚生検や手術をし、臨床⇄病理の確認を地道に 4,000 件以上繰り返しながら臨床力を磨いてきました。臨床に生きる皮膚病理を具体的に解説します。
テーマ	フットケア
コメント	フットケアと言いましても実に驚くほど多彩な病態がありますので、解説します。
テーマ	特殊な皮膚疾患
コメント	皮膚科医でもめったに遭遇しない特殊な皮膚疾患についてお話します。
テーマ	専門医たちが診断・治療に苦慮した症例
コメント	皮膚科専門医・アレルギー専門医・大学病院や総合病院の上級医が診療していても、「診断不明」や「ぜんぜん治らない！」と言って来院される患者さんが驚くほど多いです。それらの難題を解決するという作業に長年取り組んできたことにより、多くのことを学ばせて頂きましたので、それらを惜しみなくお話します。“他山の石”が一番勉強になると思います。
テーマ	知識より知恵/治療の工夫
コメント	“知識”や“技術”を身につけることに躍起になっている皮膚科医が多い反面、それで太刀打ちできない患者さんが来るとすぐに諦めてしまう“弱さ”も持ち合わせているというのも事実です。見捨てられた患者さん達の最後の砦として、知恵を搾り、治療に工夫を凝らして難局を乗り越えてきました。あらゆる職種に必要な取り組みをお話します。
テーマ	人間学
コメント	「医療」＝「医学」＋『人間学』という信念があります。過酷な環境に身を置き続けることは簡単なことではありません。「逃げる」か「潰れる」か「乗り越える」しかありません。「乗り越える」ためには、自分なりの『人間学』を磨き上げることが必須です。プロフェッショナルになるために必要なこと、座右の銘、信念・哲学・志について、“ブレない心”で自分の人生を進んでいくための大切な話をいたします。
テーマ	その他
コメント	要望に応じて講演することも可能ですので、遠慮なくご相談ください。

《 講義・講演の趣旨 》

分野を問わない豊富な臨床経験に基づいた実践的な内容となっておりますので、皮膚科に興味を持たれている方であればどなたのお役にでも立てると思います。

＜他の皮膚科医の講義・講演とは明らかに違う理由があります。＞

(1)

福島県全域で基幹病院の皮膚科医は減少の一途を辿っており、福島医大皮膚科 10 名前後、関連病院勤務医 5 名前後しかいません。当院の医師数が 100 名以上であることと比べても少なすぎます。皮膚科医の数だけではなく質も低下している影響で、「診断がわからない。」「どこへ行っても治らない。」という理由で、当科へ救いを求めて来院される患者さんが後を絶ちません。当科の医療圏である会津地方全域の難治・難病疾患の診療だけでもかなり大変ですが、福島医大のある中通りや病院勤務医不在の浜通り、さらには県外（新潟県、山形県、宮城県、茨城県、埼玉県、神奈川県）からも来院されることでパンク状態です。長年、「相談相手もいない」「助けてくれる皮膚科医もいない」という過酷な環境でも“逃げない”“あきらめない”という一貫した信念を持って臨床に向き合い続けてきました。福島県の皮膚科医療の砦として一人で孤軍奮闘してきた“叩き上げの職人”としての『地力』が違います。

(2)

資料を読めば 10 分で理解できるようなデータの羅列やその解説、および同僚・部下の臨床経験の転用などは一切なく、すべての内容が自分の臨床経験に基づいているために、『説得力』が圧倒的に違います。

(3)

多くの皮膚科医は自分の専門領域を固守しようとする意識が強いですが、そのような考えは全くありません。皮膚科医が皮膚疾患を診療することが目的なのではありません。目的はあくまでも困っている気の毒な患者さんを減らすことです。「世の中から皮膚疾患がなくなればいいのに・・・」とさえ思っております。皮膚科医の力不足で招いた気の毒な患者さんたちに接するたびにその責任を痛感いたします。すべての医療関係者の方々に積極的に皮膚疾患について理解を深めて頂くことにより、結果的に患者さんのためになるのであれば、労を惜しみません。地道な啓蒙活動が皮膚疾患の重症化や難治化の予防に大きく貢献いたします。

(4)

救いを求めて来院される患者さんの問題が解決しても、その人数は増える一方で一向に減りません。これまでのように日々目の前の臨床に取り組むだけでは、こういった状況はさらにエスカレートしていくばかりで延々に続き、福島県の皮膚科医療の将来に“夢”や“希望”が持てないというのでは悲し過ぎます。他県からの来院も見られることから、福島県だけの問題でもないような気がいたします。皮膚科医のみでは皮膚科医療は変えられないと考えております。事実、学会や大学主導で任せていても状況は良くなるどころか悪化する一方です。皮膚科を学ぶ意欲のある医療関係者であれば、どなたにでも講演いたします。もちろん、ありふれた教科書的内容やデータの羅列などの読めば分かる内容を、時間をかけて解説するような役に立たない・つまらない話ではなく、すぐに実践で役立ち長い間記憶に残る内容です。

(5)

誰も頼ることのできない過酷な環境に身を置きながら、逆境に負けずに“知識”と“技術”を磨き、“知恵”を搾って修練を積んできました。その過程で必要に迫られて身につけてきた『人間学』の講演もいたします。昨今、自分に対して、さらには自分の仕事や自分の働く会社・施設にも自信や誇りが持てないために、学校や会社を途中で辞めてしまう方が急増しております。そういった悲しいことにならないように、「学生」や「新社会人」の方に早い段階で聞いて欲しい内容です。また、相談相手もおらず常に結果を求められる「孤独な管理職」の方もどうやって仕事と向き合えば良いのか日々悩まれておりますので、少しでもお力になればと思います。